

今年の夏は暑かった！コロナ禍でいつもよりお盆や夏休み効果と思われる人の流れは緩やかでしたね。室戸ジオパークでは、屋外でできる密を避けた体験プログラムへの参加が多かったです。

## 室戸岬と新村遊歩道のジオパークサイト清掃を実施しました

室戸ジオパークの4カ年の実行計画にも含まれている「保全活動」。室戸ジオパークでは、年に複数回、不定期ですがジオパークのサイト（観光的なおすすめスポットや、派手ではないけど守っていくべき地質や地形がある場所）の清掃活動を実施しています。市民の方に広く呼びかけをして毎回実施しているのですが、今はあまり広く多くの方に呼びかける活動ができません。ですので主に室戸市役所職員と日頃から連携しているガイド団体の方にのみ呼びかけをし、室戸岬と新村遊歩道の清掃と草刈りを実施しました。



掃除前の新村遊歩道。草で遊歩道が覆われています。よく見ると、木でできた遊歩道が見えますよね？夏場はどうしてもすぐに雑草が生えてきてしまうのが悩みです。



すっきり！  
新村遊歩道は室戸の地質の特徴をコンパクトな規模で楽しむことができ、かつそんなに人がいない「穴場」です。



室戸岬では漂着ゴミと思われるペットボトルやプラスチック製品が多いのですが、新村遊歩道では「ここに来た誰かが意図的に捨てた」ことが明らかにわかる、お弁当の空き箱や、缶コーヒーのゴミが目につきます。室戸にはない店のビニール袋の中にゴミが詰められて捨てられていたり。清掃活動の参加者はそういうゴミを拾うたびに、なんとも言えないやりきれない気持ちになります。最近では「リ spons ible・ツーリズム（責任ある観光）」という言葉も生まれていて、観光客に「観光地の景観や環境をいかに守るか」という責任を問うようなツアー開発を進めている地域もあります。室戸ジオパークは特に、自然公園法で守られている国定公園のエリアも含んでいるので、観光客の方にも景観やガイドツアーを楽しみながらもある程度の責任が求められます。そういうツアーづくりも今後できればいいなと思っています。

## 【報告】地球惑星科学連合大会で四国内ジオパークで連携して発表



国内最大級の地球科学の国際学会である「地球惑星科学連合大会」が、7月11日～14日までオンラインで開催されました。今年度は四国にある4つのジオパーク地域（室戸ユネスコ世界ジオパーク、四国西予ジオパーク、土佐清水ジオパーク構想、三好ジオパーク構想）で連携し、共同で口頭発表をしました（右はそのスライド表紙です）。

## 大地のメッセージをどう伝える？

室戸岬の遊歩道沿いを主にガイドしている室戸市観光ガイドの会ですが、5月末からは「ジオストーリーを考える」をテーマに、大地のメッセージをいかにわかりやすく伝えるか、ということに勉強しています。ジオガイドとは単なる観光ガイドではなく、「目の前にある地質や景観がなぜこの形でここにあるのか、それは土地の人の生活とどんな関係があるのか」というストーリーを伝える通訳者だと言われています。

「伝える」ということに焦点を置いて、ガイドスキルのブラッシュアップをしている中、以前室戸で地理専門員をしていた袖洞さんから、彼が受け持っているゼミ生が今年はコロナ禍でフィールドワークに行くことができないからオンラインでガイドしてほしいとの新しい課題（依頼）が降ってきました。直接お客様を案内するよりハードルは高いですが、やってみよう！と準備を進めています。



## 民具の調査をはじめました

お年寄りのお話、伝わってきた民話、昔ながらの料理、昔の生活が分かる資料などからは、昔の室戸の姿を垣間見ることができますよね。昔の文化を知りたくて、民具の調査をスタートしました。皆様のご家庭にはまだあり

ますか？写真左の民具は近代型の唐箕（とうみ）です。これは取っ手を回すとドラムの部分で羽が回転して風が起きます。その風を利用して、穀物とゴミを分ける農具です。商標（栄）と読み取れますので、そこから購入したのでしょうか。下の写真はさすで、藁や草の束に突き刺して運ぶ道具です。当時地元でどのような木を利用して、手作りしていたのかが分かる資料になります。このように民具の調査をしていますので、昔の民具がある方はどうぞ教えてください。



## 室戸ジオパークの体験プログラムの料金が9月から変わります

この夏、体験する方が多かった室戸ジオパークの体験プログラム。その中の「自然体験いそあそび」と「サイクリングツアー」の料金が変わります。

2015年から始まったこのプログラムですが、インストラクターやお客様の意見を反映し、より安全にプログラムを実施するための料金改定となります。いそあそびは室戸世界ジオパークセンター前の丸山海岸にいる海の生き物を観察し、サイクリングツアーでは室戸の地形を体感しながら景観も楽しめます。ご家族が帰省したり、ご友人が遊びに来たりしたときにぜひご利用ください。詳しくは下記連絡先にお問い合わせ、もしくは右のQRコード（ウェブページ）をチェックしてください。



いそあそび



サイクリング

「室戸ジオパークだより」へのご意見・ご感想、ご質問などなど、どんどんお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。「こんな情報あるよ！」「こんな情報を掲載して」ということも、お待ちしております。

【発行】室戸ジオパーク推進協議会 (0887-22-5161)

Email: info@muroto-geo.jp

〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町 1810-2 (担当：海老川)

